山ぼうし

－友愛・協調・責任－

山ぼうしは「立志の樹」といわれ正門脇の「山ぼうし小庭園」には
『花も実も　蒼天に立つ　山ぼうし』
の碑（初代PTA会長の盛合聰氏揮毫）がある。

宮古工業高等学校校報　第12号　2017.1.26

復興の「発展期」を迎えて

校長　及川晃貴

東日本大震災津波の発生からまもなく６年を迎えます。この間、宮古市は“震災からの復興”を最重要課題と定め、「すまいと暮らしの再建」、「産業・経済復興」、「安全な地域づくり」を推進してきました。宮古市の復興計画では、平成23年度からの「復旧期」、平成26年度からの「再生期」に続く平成29年度からの３年間を「発展期」と位置づけ、震災以前よりも活力があり、魅力あふれるまちづくりに取り組むとしています。

他方、宮古市では、産業振興の新たな指針となる「産業立市ビジョン」と７つの産業分野別ビジョンを平成28年３月に策定しました。このうちの「宮古市工業振興ビジョン」では、地域の製造業の振興に向け、“新たな「モノづくり」と「人づくり」”を基本戦略に掲げ、優秀なモノづくりを発展させるための人づくり（人材育成）を推進すると謳っています。また、このビジョンには、宮古市の活かすべき資源として、豊かな自然や豊富な海洋資源・森林資源に並んで「高校・大学・技専卒の真面目な働き手」がいるとしています。本校の卒業生が地域を支える人材として高く評価されている証しであり、また、本校に対する大きな期待の表れであると思います。

本校では生徒の職業観を養い、進路研究に役立てるため、地元企業の協力の下でインターンシップや事業所見学等に取り組んでいます。中でもバイターン（有給職業体験）は、県内では本校だけの特徴的な取組ですが、今年度も管内９社の協力を得て実施できました。また、宮古市には行政面から産業分野をサポートする産業支援センターがあり、本校も就職支援等でお世話になっています。

さて、我が国の就職問題に目を転じると、若年者の早期離職が問題になっています。岩手県でも直近の統計によると、高卒・大卒の離職率はともに就職１年以内で約２割、３年以内で約４割でした。本校卒業生の離職率はこれよりは大分低いですが、離職者はいます。中には、耐え難い事情でやむなく辞めるケースもあるでしょう。ただ、早期の離職はせっかく掴んだ安定した生活を手放すことに繋がりかねません。何とか困難を乗り越え、初志を貫徹していただきたいと願うものです。

＊　＊　＊

本校の生徒の中にも、今後の就職先で困り事に遭遇し、仕事を辞めたくなる人がいることでしょう。その時は是非、本校を訪ね先生に相談してください。共に悩みつつ、解決の糸口を探っていきますから。皆さんには、宮古の復興の「発展期」を支える若者として活躍してほしいです。

○ ものづくりコンテスト電気工事部門第2位

高校生ものづくりコンテスト県大会電気工事部門が1月20日（金）・21日（土）に黒沢尻工業高校で開催され、電気電子科２年の**小堀内風真君が見事２位に入賞**しました。

併せて今年７月の東北大会出場を決めました。

今回は、全国大会仕様の難しい課題が示され、９校９名の選手たちは制限時間２時間の競技に臨みました。どの選手もタイムアップ寸前まで完成度を高め、最後まで熱い戦いを繰り広げました。

競技の後には、県電気工事業工業組合の皆さんと各校の選手・サポートメンバーたちとの意見交換会があり、生徒たちは各社の社長さん方から電気工事業に関する情報を学びました。

☆2月の主な行事☆

- **１（水）～６（月）　３学年第４期定期試験**
- １（水）～８（水）　１・２学年７校時授業
- ２（木）　２学年保護者進路説明会
- ３（金）　標準テスト
- ５（日）　技能検定（学科、普通旋盤・機械検査）
- ６（月）　ＰＴＡ理事会
- **９（木）～14（火）　１・２学年第４期定期試験**
- 11（土）　技能検定（実技、普通旋盤・シーケンス・配管）
- 20（月）　３学年出校日、大掃除
- 22（水）　性教育ピアカウンセリング研修（２年）
- 24（金）　知的財産授業（２年）
- 27（月）　卒業式準備
- 28（火）　卒業式予行・同窓会入会式
- **3．1（水）　卒業式**

スクールカウンセラー来校日　17（金）、27（月）

◯ IPPO IPPO NIPPONプロジェクト出張授業

1月13日(金)に**富士ゼロックス株式会社顧問の日比谷武先生**をお迎えし、**「未来に生きる皆さんへの応援メッセージ」**と題して、１年生全員に講演をしていただきました。

日比谷 武 先生

講演の終盤には、生徒から多数の質問があり、逆に日比谷先生から生徒たちに問いかけるなど、活発な意見交流も行われました。

この講演会は、**公益社団法人経済同友会**（企業経営者の方々が参加する団体）が被災地支援の一環で実施しているものです。日比谷先生は、経済同友会では幹事並びに「学校と経営者の交流活動推進委員会」の委員長をお務めです。

日比谷武先生の講演から（要旨）

- 礼と感謝が人と人とのつながりを生む
- 時代の大転換期である今だからこそ、郷土の偉人・先人に学ぶことは大切である
- 本来の仕事とは、社会のため、人々の幸せのために行うもの
- 自分の好きな領域を究めてほしい

『自分と未来は変えられる』

一　学は一生の大事（佐藤一斎）
- ５Ｓは基本、読み書きそろばんは土台
- 「金」「情報」「感情」の３つの流れ大切に

二　ご縁を大切に育てる
- ホウレンソウ（報告・連絡・相談）
- 一番大切なのは信頼
- 自分と他者との関係をどう築くか
  - → 相手の立場に立って考える
  - → お客様が何に困っているかを探る

三　精神性を大事にする
- 日本人の精神＝自然・事物に敬意

いい人間関係をつくり、いい情報をいただき、その情報を判断し選択していくこと

質疑応答から（一部）

Q AI(人工知能)は人を幸せにするか?
A Yes＆NO。人間の部下にできればYes。
　人間としての判断軸が大事になる

Q 高校のうちに身につけて役に立つことは?
A 体力。困難に打ち勝つ「気力」の前提が「体力」

Q 先人の言葉で感銘したことは?
A 福沢諭吉の「独立自尊」
　渋沢栄一の「経済の根底には道徳が必要」

☆IPPO IPPO NIPPONプロジェクトについて

経済同友会が東日本大震災を機に立ち上げたプロジェクトです。企業や個人から寄附金を募り被災地の人づくり等の支援に充てる活動で、本校にも公用車(左写真)や、ラジアルボール盤、3DCAD ソリッドワークスなどの実習機材を提供していただきました。

◯地区高校芸術展参加

1月18日(水)から22日(日)まで、宮古市立図書館を会場に**「第30回宮古下閉伊地区高校芸術展」**が開催されました。県高等学校文化連盟宮古支部が主催し、**「咲き誇れ才能の花」**をテーマに、宮古下閉伊管内の８高校・高等部の生徒による作品（美術・工芸、書道、写真、華道、放送）が展示・上映されました。

本校は、**放送委員会がこれまで製作してきた作品を上映**し、地域の皆様にご覧いただきました。

◯水曜歯ッピーデー！

本校では、昨年度から昼の歯磨きの習慣付けに取り組んでいます。

今年度は**「水曜歯ッピーデー」**と銘打ち、保健委員が中心となり、毎週水曜日の昼に放送で呼びかけたり、実施状況を調べたりしています。

この昼の放送は保健委員が輪番で「歯ッピー MC」を務め、音楽をかけながら歯に関する豆知識を放送しています。

ちなみに1月25日(水)は、建築設備科１年の保健委員２名が MC を担当し、**「歯磨きは、実はインフルエンザの予防にもなる」**という情報をお知らせしていました。

各月の実施率の高いクラスは「歯ッピークラス」として表彰しています。各クラスの取組状況も徐々に向上し、1月25日は全クラスが100%を達成しました。また、昼の歯磨きを習慣にする生徒も増えてきました。

編集後記

各地でインフルエンザが流行しています。本校でも罹患者の多い１学級（機械科２年）を、１月23日(月)から25日(水)まで学級閉鎖としました。インフルエンザの流行時期は12月後半から３月までとされ、特に１月下旬から２月上旬は最も危険な時期とされています。皆様、手洗い、うがい等感染予防に努めてまいりましょう。（及川）